

Ⅲ 本日の卓話

健康増進クリニック院長 水上 治様



「最新免疫療法」について

❖自己紹介

弘前大学医学部卒、長く勤務医、現在千代田区の内科開業医・医学博士（東京医科歯科大学）・公衆衛生学博士（米国ロマリンダ大学）癌・難病の先端療法を実践、徹頭徹尾患者側に立つ医療を目指す

❖我が国癌医療の問題点

総死亡者数は半世紀で4倍に増加。年間37万人。男性の2/3、女性の1/2が癌と診断され、約半数が死んでいる最悪の病気である。

❖西洋医療は驚異的に進歩している

癌が治るようになってきているとはいえ、まだ4割は死亡する。標準治療はエビデンスレベルが高く、まず受けるべきであるが、其の上で先端医療を補完的に使うことで、治癒率は飛躍的に上がる。

❖早期がん（浸潤・転移なし）

治療法⇒内視鏡手術・手術・トモセラピー・サイバーナイフ等、しかし、再発の心配は残る。

❖進行がん・末期がん（浸潤・転移あり）

がん組織の除去は困難である。
治療法⇒手術＋放射線＋抗がん剤、しかしがん細胞は叩かれるほど耐久性が・・・

❖ガン幹細胞の存在

「がん幹細胞」こそが、再発・転移の主要な細胞であることが報告されて、再発・転移の謎が解明されてきました。「がん幹細胞」は臓器別に次々と発見されており、「がん幹細胞」と増殖力の旺盛な通常の「がん細胞」に分裂します。別名「女王蜂」と言われている。

❖免疫療法の特徴

- ・体に備わっている天与のメカニズムを利用。
- ・副作用がない。
- ・生存期間の延長が期待される。
- ・効果の発現に時間が掛かることが多い。

❖作用機序の異なる免疫療法

1. がん細胞を攻撃する細胞を作る
キラーT細胞、活性NK細胞などを使った『免疫細胞療法』
2. がん細胞の反撃を排除する
抗PD-1抗体薬など『免疫チェックポイント阻害剤』

❖リンパ球療法

採血してリンパ球を取り出し、2週間で1000倍程度に増やして、かつ活性化し、点滴で戻す。しかし、腫瘍を消失させるレベルの効果は乏しい。

❖免疫システムは理想的ながん治療薬

体内(全身)のがん細胞を見つけ出す・免疫の特異性ががん細胞を攻撃・駆逐できる・キラーT細胞の傷害性抗がん作用の持続・免疫の記憶力(メモリーT細胞)

❖免疫療法の有用性

1. どんながん種でも
2. どんな病期（ステージ）でも
3. 来院できない方でも
4. 手術前後に
5. がんの発症予防に



Ⅵ. 出席・ニコニコ報告 増田 徹会員

須田 清	孫娘（高2）がヨットのオセアニア選手権で3位になりました
須田 清	水上先生ようこそおいで下さいました
盧 聖煥	水上先生今日は卓話ありがとうございます
稲川 和成	新年会例会お世話になりました 来週の例会は出席は難しいです申し訳ありません
大杉 能弘	水上先生本日卓話ありがとうございます
切通 勇次	今日も寒いです
田中 一任	水上先生本日はありがとうございます
並木 幸治	新年会おいしく楽しく過ごせました切通さんありがとう
延島 三男	水上先生卓話楽しみです
藤原 忠雄	水上先生本日は卓話よろしくお願ひします
榎 孝夫	水上先生本日はよろしくお願ひします
増田 徹	水上先生本日はお願ひします
森川 昌紀	大杉さん先日はごちそう様でした

12口 13,000円 累計 317,000円

会員	出席	計算数	MU	%
22	13	18	0	72.20